

■ 共同研究&起業支援を2本柱に、産学官を結ぶハブ大学へ ■ 関西大学イノベーション創生センター1周年 記念シンポジウム「イノベーションとビジネスチャンス」を開催

【日時】9月13日(水) 13:00~16:30 【場所】千里山キャンパス 尚文館マルチメディア AV 大教室

関西大学ではこのたび、産学官連携活動の飛躍的な活性化とベンチャー支援・人材育成を目指す「イノベーション創生センター」の1周年記念シンポジウムを、9月13日(水)に千里山キャンパスで開催します。

本件の ポイント

- ・産学官連携によるイノベーション創出拠点として施設が竣工し、1年が経過
- ・実験・研究エリアへの入居率は9割を超え、さまざまなプロジェクトが始動中
- ・記念シンポジウムでは同センター活用による緑内障の視野検査システム開発の成果等を報告

同センターは、産学官連携によるイノベーション創出の拠点として、2016年に設置されました。現在、センター内「実験・研究エリア」への入居率は9割を超え、企業をはじめとする様々な外部機関との共同研究が進められています。また、若手起業家による学生向け講演会や起業サポート講座を複数開催するなど、ベンチャー支援およびアントレプレナーシップ育成にも継続的に取り組んでいます。

本シンポジウムでは、まず基調講演として、我が国の電子認証等ネットワークセキュリティ環境の整備を実現させた川島昭彦氏(ビー・ユー・ジーDMG 森精機株式会社代表取締役社長)を招き、「事業創生の楽しさ、難しさ」をテーマに講演いただきます。続いて、本学システム理工学部の小谷賢太郎教授が、同センターにおける研究プロジェクトの成果発表の一例を紹介。緑内障の早期発見・治療を行うための新しいツールとして、医療関係者の期待を集める新しいポータブル視野測定システムの概要を解説します。

さらに、イノベーション創生センター長の石川正司(化学生命工学部教授)をコーディネーターとして、パネルディスカッション「イノベーションをいかに起こし、いかに育てるか」を実施。川島昭彦氏、寶川厚司氏(株式会社カネカ Foods&Agris Solutions Vehicle 新規素材企画グループ幹部職)、産学官連携センター長の谷弘詞(システム理工学部教授)、西岡健一(商学部教授)の4名をパネリストに、イノベーションによるさらなる事業促進に向けた意見交換を行います。

同センターは今後も、共同研究プロジェクトの創生・拡充および各種セミナー・交流会の企画等を通して、産学官連携の活性化とベンチャー支援・人材育成に取り組んでいきます。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、周知・取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

<1周年記念シンポジウムの概要>

【日時】9月13日(水) 13:00~16:30 <12:30開場・報道受付開始>

【場所】関西大学千里山キャンパス 尚文館マルチメディア AV 大教室
吹田市山手町3-3-35(阪急「関大前」駅下車徒歩約10分)

【プログラム】別紙ご参照 【参加費】無料 【定員】200名

【申込方法】関西大学イノベーション創生センターHPより(詳細別紙) 【申込期日】9月12日(火)

【本シンポジウムに関する一般のお問い合わせ先】関西大学イノベーション創生センター事務局

TEL: 06-6368-1250 Email: kucic@ml.kandai.jp

【主催】関西大学イノベーション創生センター

【後援】近畿経済産業局・大阪商工会議所・吹田商工会議所

以上

※当日の取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

取材に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当: 石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ 関西大学イノベーション創生センター1周年記念シンポジウムの詳細

12:30～ 開場／報道受付開始

13:00～ 開会／挨拶：芝井 敬司（関西大学学長）

13:05～ 講演「事業創生の楽しさ、難しさ」



：川島 昭彦氏（ビー・ユー・ジーDMG森精機株式会社代表取締役社長）

奈良市出身。1985年京都大学工学部卒。1985年～1995年：三井物産株式会社。1995年：三井物産を退職し生活と仕事の両立の為札幌に移住、(株)ビー・ユー・ジー入社。1997年米国GTE社(現ベライゾン)、(株)野村総合研究所、NTT DoCoMoと電子認証局サイバートラスト(株)を設立、代表取締役社長に就任。2000年～2005年、日本ベリサイン(株)代表取締役社長兼CEO。2005年～現職。

14:30～ 成果発表「新しいポータブル視野検査システムの開発」：小谷 賢太郎（システム理工学部教授）

15:00～ 休憩

15:15～ パネルディスカッション「イノベーションをいかに起こし、いかに育てるか」

<パネリスト> 川島 昭彦氏

寶川 厚司氏（株式会社カネカ Foods&Agris Solutions Vehicle 新規素材企画グループ幹部職）

谷 弘詞（産学官連携センター長、システム理工学部教授）

西岡 健一（商学部教授）

<コーディネーター> 石川 正司（関西大学イノベーション創生センター長、化学生命工学部教授）

16:30～ 閉会挨拶：廣瀬 幹好（同副センター長、商学部教授）

■ シンポジウム参加申込方法（一般）

関西大学イノベーション創生センターHP [<http://www.kansai-u.ac.jp/renkei/event/>] にアクセスし、該当イベントの申込フォームにて必要情報を入力・送信

■ 関西大学イノベーション創生センター概要

鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階・地上4階建て、延床面積3574.26㎡。

研究室・ベンチャーオフィスのほか、イベントスペースやミーティングスペース有。

【1F】対話スペース・カフェ

自由な発想を期待するカフェスペースで、リラックスできる共有スペースとして一般開放。

30～40人程度のセミナーや交流会・レセプションが実施できる機能も備える。

【2F】対話プログラムスペース・ベンチャーオフィス

学際的な教育研究と産学官連携をもって、ビジネスモデルの構築・応用など思考モデルを用いた対話をもとに、実用化・事業化の検討を行うスペース。大学発・学生発ベンチャーのオフィスを設置し、起業支援を行う。セキュリティ機能付帯。原則24時間利用可能。

【地下1F・3F・4F】実験・研究エリア

共同研究、企業間連携を行うエリア。最先端の研究装置群を擁する。耐荷重は地下1階が2t/㎡、3・4階が1t/㎡と、さまざまな分野の研究に対応すべく、重量系装置の設置にも耐えうる構造を有する。

オープンイノベーション、コンソーシアム型研究などでの利用を特長とする。秘密保持の観点から立ち入り制限あり。

セキュリティ機能付帯。原則24時間利用可能。



<イノベーション創生センター外観>